

## 眼瞼下垂手術のひと工夫

小室 好一<sup>1</sup> 池村 巧<sup>1</sup>

Yoshikazu Komuro<sup>1</sup> Takumi Ikemura<sup>1</sup>

コムロ美容外科<sup>1</sup>

眼瞼下垂の手術方法として、瞼の表の皮膚側から切開を行う経皮法と、瞼の裏の結膜側から手術を行う経結膜法があるが、日本の保険診療においては大多数の病院が皮膚の切開を行っており、経結膜法を実施している保険医療機関は極めて少ない。美容外科においては皮膚切開法と、切らない眼瞼下垂手術として経結膜側から縫合糸を埋没させる行われているが、後者は近年はじめた方法で長期的な挙上効果が切開法と同等にあるかは不明である。皮膚切開法では重瞼術と同じく上眼瞼上の皮膚を切開し、上眼瞼筋から続いている眼瞼挙筋腱膜を瞼板に縫合している。

当施設では、これ以外のミュラー筋の短縮にひと工夫を加えて簡単に眼瞼下垂の治療ができる方法をご紹介します。